

新内容項目対応版

■学習指導要領準拠■

[ゆたかな心—新しい道德—]指導資料

道德の年間指導計画例

●「『私たちの道德』との関連」付き●

4年

株式会社**光文書院**

本書の使い方〔先生がたへ〕

1. 「主題のねらい」を具体的に示し、【評価の観点】としても活用できるよう記しました。
 - 心のあり方だけではなく、行動力の育成も視野に作成しています。
 - 総括的な「◎ねらい」をさらに分析し、具体的な「*ねらい」によってわかりやすく示しました。
 - 具体的な「*ねらい」は、
 - ・どのような感動を期待するか
 - ・どのような道徳的理解や判断力を期待するか
 - ・どのような自分のよさを期待するか
 - ・どのような生き方（実践意欲や態度）を期待するかという観点に基づいて表記しています。
 - 「*ねらい」の表現方法も、評価の観点としての活用をふまえ「……心が動く」「……わかる」「……しようとする」「……課題をもつ」など、子どもの立場に立った表記をしています。
2. 「展開の概要」を多様化しました。
 - 道徳の授業は、さまざまな学習活動によって成り立っていますので、発問の乱発を避け、より具体的な授業展開を描くことができるよう、多様な活動を示しました。
 - “授業は特定の教師と特定の子どもによってつくられる作品である”という立場に立ち、発問も子どもの違いによって変わるものとしてとらえ、授業構想を示しています。
 - 「展開の概要」をもとにして、「子どもの実態に即した発問」を工夫し授業を行うことを想定した展開になっています。
3. 「関連・連携」を強化しました。
 - 道徳教育は、道徳の時間を要として、学校における全教育活動における道徳教育と関連を図るとともに、家庭や地域社会における道徳教育と連携をとって行うものであるという文部科学省の考えに基づいて、関連や連携例に力を入れて示しました。
 - これを受けて、授業後の子どもの活動を促す「発展」を指導書（研究編）に提示し、児童書の最後にその内容を子ども向きの表現で示しています。
4. 『ゆたかな心』と『私たちの道徳』のそれぞれの特長を生かして、より効果的に活用するための計画案を示しています。
 - 『私たちの道徳』と併用しやすい工夫を加えました。
 - 道徳授業を深める『ゆたかな心』と、それを広げる『私たちの道徳』の効果的な関連方法を表記する欄を設けました。
 - 『私たちの道徳』の読み物資料を計画例に加え『ゆたかな心』の資料と選択できるよう配慮しました。

※2016年度改訂版『私たちの道徳』で追加された新内容項目の資料との対応表です。必要に応じて、ご利用ください。

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
【私たちの道徳】周りの人たちと、もっと仲良くするために〔主題名／周りの人たちと、もっと仲良くするために〕〈相互理解，寛容〉				
月				<p>【導入】P174・P175を活用し、「周りの人たちと、もっと仲良くするために」どうしたらよいかを考えさせる。</p> <p>【終末・発展】P176・P177を活用し、考えたことを、実生活に生かすようにさせる。</p>
【私たちの道徳】うれしく思えた日から〔主題名／自分の良い所をのばして〕〈個性の伸長〉				
月				<p>【導入】P178・P179を活用し、「分けへだてをしない」ためには、どうすればよいと思うか発表させる。</p> <p>【終末】P180～P183を活用し、分けへだてをせずに友達と接するために大切だと思われることをまとめさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
1. ぼくの生まれた日 ―ドラえもん―【主題名／生まれた日】〈生命の尊さ〉				
4月	<p>◎誕生したときの家族の喜びを知り、家族の大切な存在である自分の生命を大切にしようとする。</p> <p>*子どもの誕生は、その家族にとってかけがえのない喜びであることを知る。</p> <p>*家族の愛情や願いに気づき、自分の生命を輝かせようとする。</p> <p>*自分の生命と同じように、他の生命も大切にしようとする。</p>	<p>1 自分が生まれた日の家族の気持ちを想像する。</p> <p>2 資料『ぼくの生まれた日』を読み、「のび太」の誕生を家族がどのような気持ちで迎えたかを考える。</p> <p>3 自分が生まれたときのようなすが書かれた手紙を読み、感想や学習したことをまとめる。</p>	<p>①道徳の授業……資料『ぼくの生まれた日』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……保護者からの手紙を読んだ感想を書かせ、保護者に伝えさせる。自分の名前の由来を調べさせ、家族の願いや思いを知らせる。</p> <p>③総合的な学習の時間……「2分の1成人式」などで自分の成長を振り返らせ、これからの自分のあり方を考える機会にさせる。</p>	<p>【導入】P94・P95の詩をもとに、命の大切さについて考えさせる。</p> <p>【終末】P100・P101を読んで、本時の学習との共通点を考えさせる。</p> <p>【発展】P96～P99『ヒキガエルとロバ』を読ませ、命の大切さについて考えを広げさせる。</p>
【私たちの道徳】ヒキガエルとロバ【主題名／命あるものを大切に】〈生命の尊さ〉				
4月				<p>【導入】P94・P95の詩をもとに、命の大切さについて考えさせる。</p> <p>【終末】P100・P101を読んで、本時の学習との共通点を考えさせる。</p>
2. みんなのためにできること【主題名／みんなのためにできること】〈勤労、公共の精神〉				
4月	<p>◎働くことの大切さを知り、進んで働く。</p> <p>*働くことには、みんなのために役立っているという喜びがあることがわかる。</p> <p>*学校・家庭・地域社会のそれぞれにおいて自分の役割を理解する。</p> <p>*働くことの大切さや尊さを知り、みんなのために進んで働こうとする。</p>	<p>1 アンケートの結果を見て話し合う。</p> <p>2 資料『みんなのためにできること』を読んで、主人公の気持ちの変化をとらえる。</p> <p>3 自分たちの生活の中でこれから特に努力したいことについて話し合う。</p> <p>4 今、学級などで仕事に取り組んでいるときの気持ちを振り返る。</p> <p>5 「仕事のよさ」をカードにまとめる。</p>	<p>①学級活動……アンケート調査でどのような仕事や手伝いをしているかについて調べさせる。</p> <p>②道徳の時間……資料『みんなのためにできること』を読んで、働くことにはみんなの役に立っているという喜びがあることをわからせる。〔本時〕</p> <p>③学級活動……みんなのためになる仕事を考え、実行のための計画を立てさせる。</p>	<p>【導入】P130に「自分がしたい仕事」を書かせ、その理由を考えさせる。</p> <p>【展開後段】P134・P135を読んで聞かせる。</p> <p>【終末】P132・P133を活用して、自分たちができることを考えさせる。</p> <p>【発展】P132・P133を活用して、自分たちができたこと、それによって良かったと思ったことをまとめさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
3. ブラジルからの転入生〔主題名／友だちをつくるために〕〈友情，信頼〉				
4月	<p>◎友達のよさを見つけ、理解し合い、信頼関係を築いていこうとする。</p> <p>*互いのよさを認め合うと、その友達との仲が深まっていくんだなあという気持ちをもつ。</p> <p>*一面的な価値観で友達を見ると、ほんとうの友達のよさはわからないことがわかる。</p> <p>*人にはそれぞれ持ち味があり、だれにでも必ずよいところがあることがわかる。</p> <p>*友達のよい面に目を向けようとする心をもって生活する。</p>	<p>1 ブラジルのサッカーについて知る。</p> <p>2 資料『ブラジルからの転入生』を読んで、話し合う。</p> <p>3 自分の友達について改めて考える。</p> <p>4 多くの人のよさを探し、認め合う話し合いをする。</p>	<p>①道徳の授業……資料『ブラジルからの転入生』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……「友達のよさ発見」週間を設け、道徳ノートやワークシートにまとめさせる。</p> <p>③帰りの会など…友達のよいところを発表したり、背面黒板にまとめたりさせる。</p> <p>④学級活動……お互いのよさを認めた学級での役割などを話し合わせる。</p>	<p>【導入】P71 をもとにして、「友達づくりのひけつ」について発表させる。</p> <p>【展開後段】P70 を活用し、友達がいてよかったと思う経験を出し合わせる。</p> <p>【終末】P72 をもとにして、友達の良いところを見つけ合わせる。</p> <p>【発展】P76～P79 を読み、友達の良さについて感想文を書かせる。</p>
【私たちの道徳】同じ仲間だから〔主題名／友達とたがいに理解し合っ〕〈友情，信頼〉				
4月				<p>【導入】P71 をもとにして、「友達づくりのひけつ」について発表させる。</p> <p>【展開後段】P70 を活用し、友達がいてよかったと思う経験を出し合わせる。</p> <p>【終末】P72 をもとにして、友達の良いところを見つけ合わせる。</p>
4. さか上がり〔主題名／このクラスでよかったな〕〈よりよい学校生活，集団生活の充実〉				
5月	<p>◎先生が自分たちの成長を願って努力していることを知り、先生の愛情を感じ取り、先生を深く信頼し、敬愛し、自分の成長を学級につなげ、よりよいものへと高めようとする。</p> <p>*先生がたくさんのことを知っているのは、自分たちの成長を願って努力しているからであることがわかる。</p> <p>*励まし合い、友達の成功を喜び合える学級はよい学級だということがわかり、心が動く。</p> <p>*先生を敬愛し、よりよい学級をつくるために自分にできることを考え、実践しようとする。</p>	<p>1 すばらしい学級とはどんな学級なのか考える。</p> <p>2 資料『さか上がり』を読み、資料のクラスはどんなクラスか考え、話し合う。</p> <p>3 自分の学級について考える。</p> <p>4 これから自分達の学級をどんな学級にしたいか話し合う。</p>	<p>①道徳の授業……資料『さか上がり』を読んで、学級のよさについて話し合う。〔本時〕</p> <p>②朝の活動……自分たちの学級、学校のよさについて発表する。</p> <p>③特別活動……自分が学級のためにできることを考え、実践する計画を立てる。</p>	<p>【導入】P148・P149 を使って、「学校だからできること」を考えさせる。</p> <p>【終末】P152・P153 を読ませ、「クラスの力」について考えさせ、このクラスで良かったと思うことを出し合わせる。</p> <p>【発展】P154～P157 を読ませ、より良いクラスにするための話し合いをさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	--------------

【私たちの道徳】みんな待っているよ【主題名／協力し合って楽しい学校、学級を】〈よりよい学校生活、集団生活の充実〉

5 月				<p>【導入】P148・P149を使って、「学校だからできること」を考えさせる。</p> <p>【終末】P152・P153を読ませ、「クラスの力」について考えさせ、このクラスで良かったと思うことを出し合わせる。</p>
--------	--	--	--	---

5. 十才のプレゼント【主題名／美しいものに感動する】〈感動、畏敬の念〉

5 月	<p>◎美しいものや気高いものに感動し、その心を大切にしようとする。</p> <p>*自然に触れ、その美しさや大きさ・不思議さに感動することができる。</p> <p>*自然には、人間の力の及ばない営みがあることがわかる。</p> <p>*そのようなすばらしい自然は、自分の身の回りにもあることに気がつく。</p> <p>*感動するのは、自分の心の中にそれを求めているからであることがわかり、その心を大切にしようとする。</p>	<p>1 これまでに自分がもらった誕生日のプレゼントを思い出し、発表する。</p> <p>2 資料『十才のプレゼント』を読んで、話し合う。</p> <p>3 これまでに自然のすばらしさに触れて、「美しさに感動した経験」を思い出し、話し合う。</p> <p>4 今日の学習で学んだことをまとめ、今後の生活について話し合う。</p>	<p>①道徳の授業……資料『十才のプレゼント』を読んで、話し合わせる。[本時]</p> <p>②読書活動……美しい大自然を紹介した写真集などを読ませる。</p> <p>③家庭学習……身の回りで触れた自然を、作文や絵に表すように指導する。</p>	<p>【導入】P112～P115を読み、北斎が富士のとりこになった理由を考えさせる。</p> <p>【展開後段】P108～P111を活用し、「私たちの心を動かすもの」について、自分の言葉でまとめさせる。</p> <p>【発展】P112～P115を読み、感想を書かせる。</p>
--------	---	--	--	--

【私たちの道徳】富士と北斎【主題名／美しいものを感じて】〈感動、畏敬の念〉

5 月				<p>【展開後段】P108～P111を活用し、「私たちの心を動かすもの」について、自分の言葉でまとめさせる。</p> <p>【発展】P112～P115を読み、感想を書かせる。</p>
--------	--	--	--	---

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
6. お母さんのせいきゅう書【主題名／お母さんの心】〈家族愛、家庭生活の充実〉				
5月	<p>◎父母を敬愛し、家族みんなで楽しい家庭をつくらうとする。</p> <p>*親の無償の愛がわかり、その愛に感動することができる。</p> <p>*家族に対する親の考え方と、自分の考え方には大きな違いがあることがわかる。</p> <p>*親を尊敬し親しみ、自分も家族のために尽くそうとする。</p>	<p>1 問題をもって資料『お母さんのせいきゅう書』を読む。</p> <p>2 二人の考え方はどのように違うかについて話し合う。</p> <p>3 ブラッドレーの、家族に対する考え方はどのように変わったかについて話し合う。</p> <p>4 自分たちの両親の心について話し合う。</p> <p>5 わたしたちの両親の心をもっと聞いてみようとして計画する。</p>	<p>①道徳の授業……資料『お母さんのせいきゅう書』を読んで、親の心について話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……家族のために働いているお父さんやお母さんの心を、インタビューしてまとめさせ、背面黒板などを使って発表させる。</p>	<p>【導入】事前にP136・P137を書かせておき発表させる。</p> <p>【展開後段】P140を読み聞かせ、家族の思いについて補足する。</p> <p>【終末】P141の表に自分ができることを具体的に記述させる。</p> <p>【発展】P140・P141を活用して、家族への思いを言語化させ、実行させる。</p>
7. タイムくん【主題名／時間を整理・整頓しよう】〈節度、節制〉				
5月	<p>◎時間（時刻）の大切さを知り、自分の成長のために、見通しをもち、自分をコントロールして生活しようとする。</p> <p>*時間は、自分自身を高める価値のあるものだ気づく。</p> <p>*時間（時刻）を継続的に守ることが自分を成長させることがわかる。</p> <p>*自分なりの見通しをもち、計画的に時間を使って、自律的に生活をしようとする。</p>	<p>1 「時間」について考える。</p> <p>2 資料『タイムくん』を読み、時間が守れない体験や経験を考える。</p> <p>3 これからの生活で時間を守るよさとその秘けつを考える。</p>	<p>①道徳の授業……資料『タイムくん』を読んで、「時間の大切さ」について話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……教室の時計をはずして、学校生活を体験させる。</p> <p>③読書活動など……時間（時刻）に関する故事やことわざなどを讀んだり、調べたりさせる。</p> <p>④総合的な学習の時間……「校区探検活動」などのプロジェクトを組み、野外学習の計画をつくり、時間を意識した体験の場を位置づける。</p>	<p>【導入】P10・P11を活用して、自分の生活の様子を振り返らせる。</p> <p>【展開後段】P12・P13を読み、本時の学習とつながるキーワードを見つけさせる。</p> <p>【終末】P16～P19『少しだけなら』を読ませ、自分の生活に生かせそうなことを見つけさせる。</p>
【私たちの道徳】少しだけなら【主題名／よく考えて節度ある生活を】〈節度、節制〉				
5月				<p>【導入】P10・P11を活用して、自分の生活の様子を振り返らせる。</p> <p>【展開後段】P12・P13を読み、本時の学習とつながるキーワードを見つけさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	--------------

8. サッカーボール【主題名／強い心】〈善悪の判断，自律，自由と責任〉

6 月	<p>◎よいことや正しいと思うことは、勇気をもって行おうとする。 *自分が正しいと思ったことを実行する力が勇気であることを理解する。 *自分が正しいと思ったことを勇気をもって行うときには、時・場・相手についても考えることが必要であることがわかる。 *自分が正しいと思ったことについては、強い意志を発揮して実践していこうとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 「勇気ある行動」について考える。 2 資料『サッカーボール』を読んで、話し合う。 3 日常の中で類似したことが起きたとき、自分はどのように考えどのように行動するかを考える。 4 教師の説話を聞く。 	<ol style="list-style-type: none"> ①授業前……………「勇気のある人」とはどんなことをする人か、考えさせておく。 ②道徳の授業……資料『サッカーボール』を読んで、話し合わせる。〔本時〕 ③授業後……………「ちょっと勇気を出して」という題で週に一度日記を書かせ、朝の会のスピーチや教室掲示で紹介させる。 	<p>【導入】P31を用いて、勇気を出せない時はどのような時かを考えさせる。 【展開後段】P32の「義を見てせざるは勇なきなり」とはどのようなことかを考える。 【終末】P33を読み、「勇気をもってできた」体験を出し合わせる。 【発展】総合の時間にP34～P37を読ませ、勇気を出して良かったと思う体験を出し合わせる。</p>
--------	---	---	--	---

【私たちの道徳】よむむし太郎【主題名／正しいことは勇気をもって】〈善悪の判断，自律，自由と責任〉

6 月				<p>【導入】P31を用いて、勇気を出せない時はどのような時かを考えさせる。 【展開後段】P32の「義を見てせざるは勇なきなり」とはどのようなことかを考える。 【終末】P33を読み、「勇気をもってできた」体験を出し合わせる。</p>
--------	--	--	--	--

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	--------------

重点主題	<p>9 どっちがいいか</p> <p>10 自分たちにできるエコ活動</p>	▶ 重点主題名／きまりを守る心〔きまりを守る〕
<p>【重点主題のねらい】</p> <p>◎約束や社会のきまりの意味を正しく理解して、何をしたらいいのか・いけないのかを考えて生活する。</p> <p>*約束や社会のきまりは何のためにあるのか、だれのためにあるのかを理解する。</p> <p>*きまりを守ることは自分を守ることだということがわかり、進んで守ろうとする。</p> <p>*「みんなが気持ちよく」という観点でものごとを見直して生活するようになる。</p>		

9. どっちがいいか〔主題名／みんなが気持ちよく〕〈規則の尊重 / 親切, 思いやり〉

6 月	<p>◆本時のねらい</p> <p>○秩序ある生活のためには、約束や社会のきまりが必要であることがわかる。</p> <p>○約束や社会のきまりが正しく理解されるには、お互いの信頼と連帯が大切であることを理解する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 身近な約束や社会のきまりについて考える。 2 資料『どっちがいいか』を読み、約束やきまりと生活の関係を考える。 3 約束やきまりに対する自分の姿勢について考える。 	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>社会のきまり（ルール）がない自由気ままな生活と、何もかもあらかじめ決めたルールに頼る生活の極端な例が示されている。約束や社会のきまりが何のためにあるのかを改めて問うことができる。</p>	<p>【導入】 P118～P121を活用して、自分たちの身の回りにあるきまりについて考えさせる。</p> <p>【終末】 P124～P127『雨のバス停留所』を読ませて、なぜきまりを守るのかを考えさせる。</p> <p>【発展】 P122・P123を読ませ、必要なきまりは何かを話し合わせる。</p>
--------	--	---	---	--

10. 自分たちにできるエコ活動〔主題名／きまりを守る〕〈規則の尊重 / 親切, 思いやり〉

6 月	<p>◆本時のねらい</p> <p>○健康で豊かな社会生活を営むためには、社会のきまりを守って生活することが大切であることを理解する。</p> <p>○社会の一員として、約束やきまりの意味を正しく理解して守っていかうとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会のきまりの問題点について考える。 2 資料『自分たちにできるエコ活動』を読み、社会のきまりを守ることの意味を考える。 3 地域のきまりの意味と自分の生活との関係を見直す。 	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>社会のきまりの具体例（ごみの分別収集）から、社会生活の営みの一端を知ることができる。社会で生活する一員として、何をすべきか・何をしてはいけないのかの心構えを認識させる契機としたい。</p>	<p>【導入】 P118～P121を活用して、自分たちの身の回りにあるきまりについて考えさせる。</p> <p>【終末】 P124～P127『雨のバス停留所』を読ませて、なぜきまりを守るのかを考えさせる。</p> <p>【発展】 P122・P123を読ませ、必要なきまりは何かを話し合わせる。</p>
--------	--	---	--	--

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
【私たちの道徳】雨のバス停留所で〔主題名／社会のきまりを守って〕〈規則の尊重〉				
6月				<p>【導入】P118～P121を活用して、自分たちの身の回りにおけるきまりについて考えさせる。</p> <p>【発展】P122・P123を読ませ、必要なきまりは何かを話し合わせる。</p>
11. かさ〔主題名／思いやりのリレー〕〈親切、思いやり〉				
6月	<p>◎相手の心を思いやり、進んで親切にしようとする。</p> <p>*困ったときに親切にされると、うれしくなることがわかる。</p> <p>*人に親切にすれば、相手も自分もうれしい気持ちになることがわかる。</p> <p>*困っている人を見過ごすことができない思いやりの心が自分にもあることに気づく。</p> <p>*相手の心を思いやり、進んで親切にしようとする。</p>	<p>1 困ったときに助けってもらった体験について話し合う。</p> <p>2 資料『かさ』を読んで、親切にされたときの気持ちを考える。</p> <p>3 主人公の気持ちが変化した原因について考える。</p> <p>4 親切な行動のもとになるものを考える。</p>	<p>①道徳の授業……資料『かさ』を読んで、思いやりについて考えさせる。 〔本時〕</p> <p>②学級活動……思いやりから生まれたエピソードなどを紹介し合わせる。</p> <p>③日常生活……相手の気持ちを思いやろうとする態度で生活させる。</p> <p>④読書活動など…読んだ本の中から、思いやりの心を見つけて紹介し合わせる。</p>	<p>【導入】P66～P69『心と心のあく手』を読み、「本当の親切」について考えさせる。</p> <p>【終末】P64を活用し、「思いやり」についての考えを深めさせる。</p> <p>【発展】P65を読ませ、「思いやり」について書かれた文学作品を読ませる。</p>
【私たちの道徳】心と心のあく手〔主題名／相手を思いやり親切に〕〈親切、思いやり〉				
6月				<p>【終末】P64を活用し、「思いやり」についての考えを深めさせる。</p> <p>【発展】P65を読ませ、「思いやり」について書かれた文学作品を読ませる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	--------------

12. わたしのゆめ〔主題名／自分をかがやかせるために〕〈個性の伸長〉

7 月	<p>◎自分らしさに気づき、よいところを磨き、輝かせようとする。</p> <p>*自分には、好きなことや得意なことがあるという「自分らしさ」に気づく。</p> <p>*「自分らしさ」は、特徴であり、自分を輝かせるものになることがわかる。</p> <p>*自分の特徴を磨き（伸ばし）、特長にして自分を輝かせようとする意欲をもつ。</p>	<p>1 将来の夢（願いごと）をノートに書き、交流する。</p> <p>2 資料『わたしのゆめ』を読んだ感想を話し合う。</p> <p>3 「自分らしさ」とは、何かを考える。</p> <p>4 「自分らしさ」を伸ばす方法を考える。</p>	<p>①道徳の授業……資料『わたしのゆめ』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……「得意なことを探そう」という話し合いをさせ、お互いのよさを認め合い「自分らしさ」を確認させる。</p> <p>③読書活動など……自分らしさを磨き、個性を輝かせている人の詩集や伝記を読ませる。</p> <p>④総合的な学習の時間……「自分成長プロジェクト」などのユニットを組んで、自分の将来の夢（願い）を書かせ、自分の特徴を磨く決意をつくらせる。</p>	<p>【導入】P46・P47を活用し、自分の長所と短所について考えさせる。</p> <p>【終末】P53をもとにして、自分の長所を伸ばすためにはどうしたらよいかを考えさせる。</p> <p>【発展】P48～P52を活用し、自分の持ち味を生かして生きている人たちの存在に気づかせる。</p>
--------	---	---	--	--

【私たちの道徳】うれしく思えた日から〔主題名／自分の良い所をのばして〕〈個性の伸長〉

7 月				<p>【導入】P46・P47を活用し、自分の長所と短所について考えさせる。</p> <p>【終末】P53をもとにして、自分の長所を伸ばすためにはどうしたらよいかを考えさせる。</p> <p>【発展】P48・P49を活用し、自分の持ち味を生かして生きている人たちの存在に気づかせる。</p>
--------	--	--	--	--

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
13. 新しい町・ぼくたちの町〔主題名／大きな根っこのある町にしたい〕〈伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度〉				
7月	<p>◎どっしりと根をはった自分たちの町をつくっていきましょう。</p> <p>*「自分の町」をつくってもらいたいお父さんの願いと、それを受け止めたひろしの姿に感動する。</p> <p>*どっしりと根をはった町について、自分なりの考えをもつ。</p> <p>*今自分たちが住んでいる町をつくりあげていくのはわたしや友達だということを自覚し、積極的に地域の行事に参加しようとする。</p>	<p>1 主題名の「大きな根っこ」の意味について考える。</p> <p>2 資料『新しい町・ぼくたちの町』を読んで、話し合う。</p> <p>3 「大きな根っこのある町」をつくるために自分たちができることを考える。</p>	<p>①道徳の授業……資料『新しい町・ぼくたちの町』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……自分たちが住んでいる地域を見つめ直し、どんな行事があるかを調べさせる。</p> <p>③社会科学習……自分たちが住んでいる地域が昔の人々の工夫によって発展してきた事実を学ばせる。</p> <p>④総合的な学習の時間……地域の行事マップやボランティアマップを作り、生活に生かすようにさせる。</p>	<p>【導入】P158・P159を活用し、「私たちのふるさと」について考えさせる。</p> <p>【展開後段】P162を読み聞かせ、ふるさとを愛する人の気持ちを理解させる。</p> <p>【終末】P160・P161を用い、ふるさとの紹介をさせる。</p> <p>【発展】P163をもとに、自分のふるさとを短歌に書かせる。</p>
14. 郷土の祭りや行事〔主題名／ふるさとのよさを見つけよう〕〈伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度〉				
9月	<p>◎ふるさとの祭りや行事を知り、それを大切に、受け継ごうとする。</p> <p>*自分たちが楽しみにしている祭りや行事が昔から伝えられてきたことに心が動く。</p> <p>*ふるさとの祭りや行事がどうして行われてきたかがわかる。</p> <p>*ふるさとの祭りや行事を大切に、それを受け継ぎ、伝えていこうとする。</p>	<p>1 自分たちの地域にある祭りや行事について話し合う。</p> <p>2 資料『郷土の祭りや行事』を読んで話し合う。</p> <p>3 地域の祭りや行事に参加するとき大切なことを考える。</p>	<p>①道徳の授業……資料『郷土の祭りや行事』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……ふるさとの祭りや行事に自分たちがどのように参加してきたかを調べさせる。</p> <p>③読書活動など……ふるさとの祭りや行事について紹介している本を読ませる。</p> <p>④総合的な学習の時間……自分たちが選んだ祭りや行事の歴史を紙芝居等にまとめて発表させる。</p>	<p>【導入】P158・P159を活用し、「私たちのふるさと」について考えさせる。</p> <p>【展開後段】P162を読み聞かせ、ふるさとを愛する人の気持ちを理解させる。</p> <p>【終末】P160・P161を用い、ふるさとの紹介をさせる。</p> <p>【発展】P163をもとに、自分のふるさとを短歌に書かせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
15. ぼくはMVP【主題名／自分に正直に】〈正直, 誠実〉				
9月	<p>◎自分に不利になることでも、自分を偽らないで正直に行動しようとする。</p> <p>*生活していく中で、過ちや失敗はだれにでもあることがわかる。</p> <p>*過ちや失敗をごまかさないうで自分の心に正直に行動することが、自分も周りも気持ちよく生活していくことにつながる。</p> <p>*自分を偽らず正直に行動し、豊かな人間関係を築いていこうとする。</p>	<p>1 自分たちがドッジボールをするときは、どんな気持ちでしているかを確認する。</p> <p>2 資料『ぼくはMVP』を読んで、ゲームの最中のこうちゃんの行動と気持ちを考える。</p> <p>3 こうちゃんは、これからどうすればいいのかを考える。</p> <p>4 今日の学習で、自分は何を学んだかについてまとめる。</p>	<p>①道徳の授業……資料『ぼくはMVP』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②終わりの会や日記……自分の一日の生活を振り返り、自分の行動にうそやごまかしがなかったかを振り返らせる。</p> <p>③教室の掲示版……「正直な人をさがそう」コーナーを設けて、学校の内外で見かけた正直な人の行動についてのエピソードを紹介させる。</p>	<p>【導入】P38・P39を用い、素直になれない時はどういう時かを考えさせる。</p> <p>【展開後段】P40を活用し、正直にできた時の気持ちについて考えさせる。</p> <p>【終末】P41を活用して、正直な心をもった人を探させる。</p> <p>【発展】P42～P45『六セント半のおつり』を紹介し、正直に生きた人の伝記や物語を探させ、読むように促す。</p>
【私たちの道徳】六セント半のおつり【主題名／正直に明るい心で】〈正直, 誠実〉				
9月				<p>【導入】P38・P39を用い、素直になれない時はどういう時かを考えさせる。</p> <p>【展開後段】P40を活用し、正直にできた時の気持ちについて考えさせる。</p> <p>【終末】P41を活用して、正直な心をもった人を探させる。</p>
16. 石油列車、東北へ向かって走れ！【主題名／ささえる人たちへのそんけいとかんしゃ】〈感謝〉				
9月	<p>◎私たちの生活を支えている人々に対し、尊敬の念をもち、感謝する。</p> <p>*人々の生活を支えるために働いている人の思いを知り、感動する。</p> <p>*自分たちの生活は、働く人々の使命感とたゆまぬ努力によって支えられていることがわかる。</p> <p>*人々の生活を支えるために働いている人々に対し、感謝の気持ちをもって接しようとする。</p>	<p>1 私たちの生活はどんな人に支えられていると思うか、話し合う。</p> <p>2 資料『石油列車、東北へ向かって走れ！』を読んで、登場する人々の行為を知る。</p> <p>3 主人公の気持ちの変化について考える。</p> <p>4 自分たちの生活を支えてくれている人々について話し合う。</p>	<p>①学級活動……「お世話になっている人」について、学級活動の時間などで話し合わせる。</p> <p>②道徳の時間……資料『石油列車、東北へ向かって走れ！』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>③社会科学習……地域の人々の生活にとって必要な飲料水、電気、ガス、廃棄物の処理などについての対策や事業を知る。</p>	<p>【導入】P82・P83を活用し、私たちが支えてくれている人々にはどのような人がいるか、考えさせる。</p> <p>【終末】P84・P85をもとに、私たちの生活を支えてくれている人たちのことを再度考えさせる。</p> <p>【発展】P86・P87を読んだ感想を発表させ、本時とのつなぎとする。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
17. 心の体温計【主題名／心の体温計】〈節度、節制〉				
9 月	<p>◎節度ある生活を心がけ、そのためにはどのような努力をすればよいのかを考え、進んで実行しようとする。</p> <p>*自分でできることは自分ですることで、節度ある生活ができることがわかり、すっきりした気持ちになることがわかる。</p> <p>*人に言われなくても自分の努力でしなければならないことがわかる。</p> <p>*節度のある生活を実践しようとする意欲をもつことができる。</p>	<p>1 度が過ぎたと思ったことや、度が過ぎてしかられたことを思い出す。</p> <p>2 「心の体温計」とは何かを考えながら資料を読む。</p> <p>3 母親から何度も注意されていた主人公の気持ちについて話し合う。</p> <p>4 主人公がすっきりした気持ちになってきたわけについて話し合う。</p> <p>5 「心の体温計」をもった生活について、具体的なめあてを考える。</p>	<p>①学級活動……目標を設定し、節度ある生活について実践を通して考えさせる。</p> <p>②道徳の時間……資料『心の体温計』を読んで、自律的な態度について考えさせる。〔本時〕</p> <p>③日常生活や帰りの会……「心の体温計」をもちながら生活し、その結果を振り返らせる。</p>	<p>【導入】P10・P11を活用して、自分の生活の様子を振り返らせる。</p> <p>【展開後段】P12・P13を読み、本時の学習とつながるキーワードを見つけさせる。</p> <p>【終末】P16～P19『少しだけなら』を読ませ、自分の生活に生かせそうなことを見つけさせる。</p>
【私たちの道徳】少しだけなら【主題名／よく考えて節度ある生活を】〈節度、節制〉				
9 月				<p>【導入】P10・P11を活用して、自分の生活の様子を振り返らせる。</p> <p>【展開後段】P12・P13を読み、本時の学習とつながるキーワードを見つけさせる。</p>
18. 誠の碑【主題名／命を守る】〈生命の尊さ〉				
10 月	<p>◎人々が守ろうと思わずにいられない命の大切さに気づき、みずからもそれを守り、前向きに生きようとする。</p> <p>*人は、宮本さんのように自分の命と同じように他人の命を大切に思う気持ちがあることがわかるとともに、そういう生き方に感動する。</p> <p>*命はわたしたちが守り受け継いできたものであり、人は一人で生きているのではないことがわかる。</p> <p>*自他の命を尊び、精いっぱい自分のできることをして、前向きに生きようという意欲をもつ。</p>	<p>1 資料『誠の碑』に書かれた文を読み、どういうことか、意味を考える。</p> <p>2 宮本さんの生き方から何かを学ぼうという観点で資料を読む。</p> <p>3 宮本さんはどうしてあのような行動をとることができたのかについて考える。</p> <p>4 『誠の碑』に記された文の意味を、生命尊重の観点から考える。</p>	<p>①道徳の授業……資料『誠の碑』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②読書活動など……命の尊さについて考えることのできる本や報道を読ませる。</p> <p>③総合的な学習の時間……「生まれて10年の記録」をまとめ、発表し合わせる。</p>	<p>【導入】P94・P95の詩をもとに、命の大切さについて考えさせる。</p> <p>【終末】P100・P101を読み、命の大切さについて本時の学習で考えたことと重ねて考えを練り上げるようにする。</p> <p>【発展】P96～P99『ヒキガエルとロバ』を読ませ、命の大切さについて考えを広げさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	--------------

【私たちの道徳】ヒキガエルとロバ〔主題名／命あるものを大切に〕〈生命の尊さ〉

10月				<p>【導入】P94・P95の詩をもとに、命の大切さについて考えさせる。</p> <p>【終末】P100・P101を読み、命の大切さについて本時の学習で考えたことと重ねて考えを練り上げるようにする。</p>
-----	--	--	--	---

19. せきがあいているのに〔主題名／相手の立場になって〕〈親切、思いやり〉

10月	<p>◎相手の気持ちや考えを思いやることの大切さを知り、だれに対しても親切にしようとする。</p> <p>*相手の気持ちを推し量って、どうしてあげることが相手にとってよいことがわかる。</p> <p>*親切とは、自分が満足することではなく、相手の立場に立ってその人が望む方向に沿って支えることであることがわかる。</p> <p>*親切の押し売りにならないように実践していこうとする。</p>	<p>1 白い杖をついている人を街で見かけた経験を話し合う。</p> <p>2 資料『せきがあいているのに』の父親が声をかけるところまでを読んで、主人公がどうしてあげたいのかを考える。</p> <p>3 資料『せきがあいているのに』の父親が声をかけたあとの部分を読んで、考える。</p> <p>4 今まで自分で親切だと思ってやってきたことを振り返り、「ほんとうの思いやり・親切とは何か」について考える。</p>	<p>①道徳の授業……資料『せきがあいているのに』を読んで、「思いやり・親切」について考えさせる。〔本時〕</p> <p>②課外や家庭……高齢者施設、障がい者施設、保育園や幼稚園と連携し、交流し合うことにより、「思いやり・親切」について改めて考えさせる。</p> <p>③日常生活……相手の立場に立った「思いやり・親切」を実践していくようにさせる。</p>	<p>【導入】P66～P69『心と心のあく手』を読み、「本当の親切」について考えさせる。</p> <p>【展開後段】P62・P63を例に、思いやりの心で親切にするとどんなよいことがあるかを考える。</p> <p>【終末】P64を活用し、「思いやり」についての考えを深めさせる。</p> <p>【発展】P65を読ませ、「思いやり」について書かれた文学作品を読ませる。</p>
-----	---	---	--	--

【私たちの道徳】心と心のあく手〔主題名／相手を思いやり親切に〕〈親切、思いやり〉

10月				<p>【展開後段】P62・P63を例に、思いやりの心で親切にするとどんなよいことがあるかを考える。</p> <p>【終末】P64を活用し、「思いやり」についての考えを深めさせる。</p> <p>【発展】P65を読ませ、「思いやり」について書かれた文学作品を読ませる。</p>
-----	--	--	--	---

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
20. 鳥にのこしたかきのみ〔主題名／動物といっしょに生きる〕〈自然愛護〉				
10月	<p>◎動物も人間と同じように生きていることがわかり、動物とともに暮らしていこうとする。</p> <p>*動物も人間と同じように、食べたり、息をしたり、悲しんだり、喜んだり、季節を感じたりして生きていることがわかる。</p> <p>*動物も人間と同じように生きているという考え方は、古来からの日本人の生命観・自然観であることを知り、自分たちも受け継いでいこうとする。</p> <p>*動物とともに生きていくための人々の工夫を知り、自分たちも工夫していこうとする。</p>	<p>1 動物に親しんだ生活について話し合う。</p> <p>2 資料を読んで話し合う。</p> <p>3 日本人の生命観・自然観について、教師の話聞く。</p> <p>4 人間と動物とがいっしょに生活している例を発表して話し合う。</p> <p>5 展開4で話し合ったことを、さらに調べようという課題について話し合う。</p>	<p>①日常生活・特別活動・総合的な学習の時間等……動物の世話、自然に親しむ生活、観察等の体験活動をさせる。</p> <p>②道徳の授業……資料『鳥にのこしたかきのみ』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>③日常生活……「動物は生きていると思うことを探す」「人間と動物とが支え合って生きていることを探す」という課題について、調査をさせ、まとめさせる。</p>	<p>【導入】P104を活用し、動植物の生命力に感動した体験を出し合わせる。</p> <p>【展開後段】P106を利用し、動植物とのかかりについて想起させる。</p> <p>【発展】P107を読ませ、同じように動植物と共に生きた人のことを調べさせる。</p>
21. 図書館で〔主題名／きまりの空気〕〈規則の尊重〉				
10月	<p>◎約束や社会のきまりを守り、公德心をもって生活しようとする。</p> <p>*自然発生的に自分の心をコントロールしている人の生き方のすばらしさに心が動く。</p> <p>*多くの人々と生活するためには、自分の感情をコントロールすることが必要であることがわかる。</p> <p>*自分の感情をコントロールすることによって安心して自分のことができ、信頼をもった集団を作ることができることがわかる。</p>	<p>1 注意書きのある図書館とない図書館の違いについて考える。</p> <p>2 資料『図書館で』を読み、なぜ、注意書きがなくても静かなのかについて考える。</p> <p>3 「目には見えないきまりの空気」のよさについて考える。</p>	<p>①学級活動……家や学校、地域にある「きまり」について調べ、まとめさせる。</p> <p>②道徳の授業……資料『図書館で』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>③日常活動……学級活動で調べたいろいろなきまりにキーワード「きまりの空気」があるかを調べ、新聞にまとめ発信させる。</p>	<p>【導入】P118～P121を活用して、自分たちの身の回りにあるきまりについて考えさせる。</p> <p>【終末】P124～P127『雨のバス停留所』を読ませて、なぜきまりを守るのかを考えさせる。</p> <p>【発展】P122・P123を読ませ、必要なきまりは何かを話し合わせる。</p>
【私たちの道徳】雨のバス停留所で〔主題名／社会のきまりを守って〕〈規則の尊重〉				
10月				<p>【導入】P118～P121を活用して、自分たちの身の回りにあるきまりについて考えさせる。</p> <p>【発展】P122・P123を読ませ、必要なきまりは何かを話し合わせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	--------------

重点主題

22 祭り日

23 仲間がいるから

▶ 重点主題名／みんなのために何ができるか〔協力し助け合う〕

24 協力調査隊

【重点主題のねらい】

◎協力の意義を知り、自分たちの心の中に協力の心と力があることを実感することができる。

* 協力とは、共通の目的をもって、自分や相手の持ち味をバランスよく発揮させながら、互いに心を重ね合わせることを意識しながら助け合うことであることがわかる。

* 協力には、物理的に見える協力だけでなく、目には見えない「かげの力」によって支えられて物事が成し遂げられる協力があることを知る。

* 自分の生活の中で、協力によって成し遂げている事例を見つけ、自分たちの生活の中にも協力の心と力があることを実感することができる。

22. 祭り日〔主題名／重なり合うように〕〈友情、信頼 / よりよい学校生活、集団生活の充実〉

11 月	<p>◆本時のねらい</p> <p>○協力とは、共通の目的をもって、自分や相手の持ち味をバランスよく発揮させながら、心を重ね合わせることを意識しながら助け合うことであることがわかる。</p>	<p>1 「協力」という言葉について考える。</p> <p>2 資料『祭り日』を読み、感想からみんなで話し合いたい問題を考える。</p>	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>一人一人が自分の音（持ち味）をしっかり出しながら、周りの仲間の音とのバランスを考えて演奏しようとするようすから、協力する力を発揮するためには、共通の目的をもち、互いにそれぞれの持ち味を十分に出しながら心が重なり合うようにという意識の大切さに気づくことができる資料である。</p>	<p>【導入】P70 をもとにして、「友達だからできること」を考えさせる。</p> <p>【展開後段】P73 を活用して、友達がいてよかったと思う経験を出し合わせる。</p> <p>【終末】P72 をもとにして、友達の良いところを見つけ合わせる。</p> <p>【発展】P76～P79 を読み、友達の良さについて感想文を書かせる。</p>
---------	---	--	---	---

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	--------------

23. 仲間がいるから〔主題名／仲間がいるから〕〈友情, 信頼 / 親切, 思いやり〉

11月	<p>◆本時のねらい</p> <p>○協力には物理的に見える協力だけでなく、目には見えない「かげの力」によって支えられて物事が成し遂げられる協力があることを知る。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 前の時間に学んだ「協力」とどのように違うのかという問題意識をもって資料を読み、協力について考える。 2 内藤選手のしていることは、協力なのかどうかについて考える。 3 日本女子ソフトボールチームの金メダル獲得の瞬間と表彰式の映像を視聴することによって「かげの力」について考える。 	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>北京オリンピックで金メダルを取った日本女子ソフトボールチームの活躍と、それを支えた内藤選手の行為とそれに支えられたチームのメンバーの思いから、目に見えない「かげの力」の協力を気づくことができる資料である。</p>	<p>【導入】P70 をもとにして、「友達だからできること」を考えさせる。</p> <p>【展開後段】P73 を活用して、友達がいてよかったと思う経験を出し合わせる。</p> <p>【終末】P72 をもとにして、友達の良いところを見つけ合わせる。</p> <p>【発展】P76～P79 を読み、友達の良さについて感想文を書かせる。</p>
-----	---	---	--	---

24. 協力調査隊〔主題名／力を生かして〕〈友情, 信頼 / 勤労, 公共の精神〉

11月	<p>◆本時のねらい</p> <p>○自分の生活の中で、協力によって成し遂げている事例を見つけ、自分たちの生活の中にも協力の心と力があることを実感することができる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 資料『協力調査隊』を読み、感想を話し合うことによって、身近な協力について考える。 2 自分たちの身の周りの協力について調べてきたことを発表する。 	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>協力をテーマに新聞にまとめようと話し合っている人物のようすから、自分自身も日常生活や学習の中で「重なり合う心」や「かげの力」を発揮していることに気づき、実感することのできる資料である。また、3つの学習のつながりを受け、資料から離れた児童が協力に対する意識を発展させ、心を力に高めることができる資料である。</p>	<p>【導入】P70 をもとにして、「友達だからできること」を考えさせる。</p> <p>【展開後段】P73 を活用して、友達がいてよかったと思う経験を出し合わせる。</p> <p>【終末】P72 をもとにして、友達の良いところを見つけ合わせる。</p> <p>【発展】P76～P79 を読み、友達の良さについて感想文を書かせる。</p>
-----	--	---	--	---

【私たちの道徳】同じ仲間だから〔主題名／友達とたがいに理解し合って〕〈友情, 信頼〉

11月				<p>【導入】P70 をもとにして、「友達だからできること」を考えさせる。</p> <p>【展開後段】P73 を活用して、友達がいてよかったと思う経験を出し合わせる。</p> <p>【終末】P72 をもとにして、友達の良いところを見つけ合わせる。</p>
-----	--	--	--	---

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
25. ケンくんのこと【主題名／友だちだから】〈友情, 信頼〉				
11月	<p>◎友達どうし、理解し合うことの大切さを知り、互いに助け合っていこうとする。</p> <p>*自分は、自分と違う気持ちや立場にある友人と生活していることを知る。</p> <p>*友達の気持ちや立場を理解し合うことが、友人関係を深めていく秘けつであることがわかる。</p> <p>*友達と心が通じ合うことにより信頼関係が生まれることを知り、互いに助け合ったり、励まし合ったりしようとする。</p>	<p>1 資料『ケンくんのこと』のような経験がこれまでの友達関係になかったかという問題意識をもって読んで考える。</p> <p>2 再び約束の日に来なかったケンくんについて、3人はどのように思ったかを考える。</p> <p>3 ケンくんが来られなかった事情がわかったあとの3人の気持ちの変化について考える。</p> <p>4 友情を支えるものは何かという問題意識をもって、望ましい友達関係について考える。</p>	<p>①家庭や課外……ふだん、仲よくしている友達について見つけ直し、友達のよいところを帰りの会などを使って発表し合わせる。</p> <p>②道徳の授業……友達と仲よくしていくためには何が必要であるかを考えながら、資料『ケンくんのこと』を読んで、話し合わせる。 〔本時〕</p> <p>③読書活動など……資料『ケンくんのこと』のように、友達の立場や気持ちがわかって仲よくなった話を紹介し合わせる。</p>	<p>【導入】P70 をもとにして、「友達だからできること」を考えさせる。</p> <p>【展開後段】P73 を活用して、友達がいてよかったと思う経験を出し合わせる。</p> <p>【終末】P72 をもとにして、友達の良いところを見つけ合わせる。</p> <p>【発展】P76～P79 を読み、友達の良さについて感想文を書かせる。</p>
【私たちの道徳】同じ仲間だから【主題名／友達とたがいに理解し合って】〈友情, 信頼〉				
11月				
26. ノーベル賞の生みの親 —アルフレッド・ノーベル—【主題名／やりとげる心と力】〈希望と勇気, 努力と強い意志〉				
12月	<p>◎人には、あきらめずに探求し続けることで何かを成し遂げることができる力があることに気づき、目標に向かって努力しようとする意欲と希望をもつ。</p> <p>*ノーベルのように、何度も失敗と工夫を繰り返すことで何かを成し遂げることができることがわかる。</p> <p>*そのような力は自分にもあり、自分を伸ばす大事な力であることに気づく。</p> <p>*自分には何ができるか、何がしたいのかを考え、それに向かって努力しようという意欲をもつ。</p>	<p>1 「頑張る」とはどういうことかについて考える。</p> <p>2 「頑張るとはどういうことだろう」という観点で資料を読む。</p> <p>3 アルフレッドの努力の道のりの意味を考える。</p> <p>4 アルフレッドの努力と共通するものを考えることにより、自分自身を置き換えて資料を読む。</p> <p>5 「頑張る」ということのイメージをもう一度考え直してみる。</p>	<p>①道徳の授業……資料『ノーベル賞の生みの親』を読んで、話し合わせる。 〔本時〕</p> <p>②日常生活……自分の夢や目標をもち、それに向かって努力するようにさせる。</p> <p>③読書活動など……夢に向かって努力し、達成した人物の伝記を読ませる。</p> <p>④総合的な学習の時間……自分で決めたねらいを達成するために、活動を続けさせる。</p>	<p>【導入】P22 を活用して、自分の目標についてイメージをもたせる。</p> <p>【展開後段】P25 を活用して、目標の達成に向けて希望をもたせる。</p> <p>【終末】P23 を参考にして、夢の実現のためのステップを考えさせる。</p> <p>【発展】P26～P29 を読ませ、夢の実現に向かって人にあこがれをもたせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
【私たちの道徳】きっとできる【主題名／やろうと決めたことは最後まで】〈希望と勇気、努力と強い意志〉				
12月				<p>【導入】P22 を活用して、自分の目標についてイメージをもたせる。</p> <p>【展開後段】P25 を活用して、目標の達成に向けて希望をもたせる。</p> <p>【終末】P23 を参考にして、夢の実現のためのステップを考えさせる。</p>
27. あ・い・う・え・おはよう【主題名／学校自まん】〈よりよい学校生活、集団生活の充実〉				
12月	<p>◎みんなで協力し、よりよい学校（校風）をつくり守ろうとする。</p> <p>*自分たちのいる学校をよりよくしたいと願ってきた人々の気持ちが、今も受け継がれていることを知る。</p> <p>*今の自分たちの中にも、学校をよりよくしていきたいという心があることに気づく。</p> <p>*学校をよくするために自分ができることを考え、取り組んでいこうとする。</p>	<p>1 自分にとって「学校はどんなところ」かを考える。</p> <p>2 資料『あ・い・う・え・おはよう』を読み、学校自慢について考える。</p> <p>3 自分が大切にしたい「学校自慢」についてまとめる。</p>	<p>①道徳の授業……資料『あ・い・う・え・おはよう』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②学級活動……高学年が児童会や委員会などでんな活動をしているのかを調べてまとめさせる。</p>	<p>【導入】P148・P149 を使って、「学校だからできること」を考えさせる。</p> <p>【終末】P152・P153 を読ませ、「クラスの力」について考えさせ、このクラスで良かったと思うことを出し合わせる。</p> <p>【発展】P154～P157 を読ませ、より良い学校にするための話し合いをさせる。</p>
【私たちの道徳】みんな待っているよ【主題名／協力し合って楽しい学校、学級】〈よりよい学校生活、集団生活の充実〉				
12月				<p>【導入】P148・P149 を使って、「学校だからできること」を考えさせる。</p> <p>【終末】P152・P153 を読ませ、「クラスの力」について考えさせ、このクラスで良かったと思うことを出し合わせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
28. 百羽のつる【主題名／ほんとうの美しさ】〈感動, 畏敬の念〉				
1 月	<p>◎美しいものや気高いものに感動する心をもとうとする。</p> <p>*心と心とが、しっかりと結び合っている話を読んで、感動することができる。</p> <p>*美しいものや気高いものにふれたときに、人間の心が動くことがわかる。</p> <p>*自分にも美しいものや気高いものに感動する心があることに気づく。</p> <p>*美しいものや気高いものを積極的に見つけ、自分の心を耕していこうとする意欲をもとうとする。</p>	<p>1 資料『百羽のつる』を読み、心に残ったところを発表する。</p> <p>2 力尽き何も言わずに落ちていく子どものつるの思いについて話し合う。</p> <p>3 99羽のつるが1羽の子どものつるを助けた思いについて話し合う。</p> <p>4 美しさや気高さに感動したことを紹介し合う。</p> <p>5 これから読んでみたい本について考える。</p>	<p>①道徳の授業……資料『百羽のつる』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②国語（読書活動）……心の「美しさ」や「気高さ」を感じる本を探して読み、感動の中心を文章に書いたり、発表したりするように指導する。</p> <p>③日常生活……心の「美しさ」や「気高さ」を感じたことを、日記などに書きとめておき、朝の会や帰りの会等で発表させる。</p>	<p>【導入】P112～P115を読み、北斎が富士のとりこになった理由を考えさせる。</p> <p>【展開後段】P108～P111を活用し、「私たちの心を動かすもの」について、自分の言葉でまとめさせる。</p> <p>【発展】P112～P115を読み、感想を書かせる。</p>
【私たちの道徳】富士と北斎【主題名／美しいものを感じて】〈感動, 畏敬の念〉				
1 月				<p>【展開後段】P108～P111を活用し、「私たちの心を動かすもの」について、自分の言葉でまとめさせる。</p> <p>【発展】P112～P115を読み、感想を書かせる。</p>
29. 雨のバスでいりゅう所で【主題名／社会のきまり】〈規則の尊重〉				
【私たちの道徳】雨のバス停留所で【主題名／社会のきまりを守って】〈規則の尊重〉				
1 月	<p>◎約束や社会のきまりを守り、公德心をもつ。</p> <p>*社会のマナーに心がけないと周りの人たちが嫌な思いをすることに気づく。</p> <p>*周りの人々のことを考えて行動しようとする心がけが、大切であることがわかる。</p> <p>*みんなが気持ちよく生活できるという観点でものごとを見直すようになる。</p>	<p>1 みんなが使うものにはどんなものがあるかについて話し合う。</p> <p>2 資料『雨のバスでいりゅう所で』を読んで、話し合う。</p> <p>3 マナーに心がけるということについて自分の姿勢を振り返り、今後の生活のしかたを考える。</p> <p>4 警察官のかたからマナーに心がけることの大切さについて話を聞く（手紙を読む）。</p>	<p>①道徳の授業……資料『雨のバスでいりゅう所で』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……自分の地域にあるいろいろなマナーを調べて発表する場を設定する。</p>	<p>【導入】P118～P121を活用して、自分たちの身の回りにおけるきまりについて考えさせる。</p> <p>【発展】P122・P123『ぶらんこ復活』を読ませ、必要なきまりは何かを話し合わせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	--------------

重点主題

30 レスキュー隊

31 五百人からもらった命

32 元気が いちばん

▶ 重点主題名／みんなの命〔自他の生命を尊重する〕

【重点主題のねらい】

◎生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にしようとする。

*他人の命であっても、それを救いたいと願う心はだれにでもあることに気づく。

*命は、多くの人に守られ、支えられていることを知り、大切にしていこうとする心をもつ。

*自他の命を大切に生活しようとする。

30. レスキュー隊〔主題名／命を救う〕〈生命の尊さ / 勤労、公共の精神〉

2 月	<p>◆本時のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人の命は国や民族に関係なく、どれも尊いものであることを知る。 ○人の命と向き合う仕事に取り組む人たちの誇りや情熱から、命の重さ・尊さを考えることができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 命を守る・命を救う仕事について考える。 資料『レスキュー隊』を読み、「命を救う」ことについて考える。 人の命と向き合っている活躍している人たちの姿を調べる計画を立てる。 	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>かけがえのない人命を救うために努力を惜しまない、レスキュー隊の人々の活躍と心情が述べられている。「仕事だから」では説明し尽くせない、人命救助に取り組む人々の行為と心に尊敬の念も抱かせてくれる。</p>	<p>【導入】 P94・P95の詩をもとに、命の大切さについて考えさせる。</p> <p>【終末】 P100・P101を読んで、本時の学習との共通点を考えさせる。</p> <p>【発展】 P96～P99『ヒキガエルとロバ』を読ませ、命の大切さについて考えを広げさせる。</p>
--------	--	--	--	--

31. 五百人からもらった命〔主題名／一人の命の大切さ〕〈生命の尊さ / 親切、思いやり〉

2 月	<p>◆本時のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○だれにでも、尊い命を救いたいと願う心があることに気づく。 ○かけがえのない、自分の命・他人の命・命あるものを大切にしようとする心をもって実践していこうとする。 	<ol style="list-style-type: none"> 献血や輸血について知っていることを発表し合う。 資料『五百人からもらった命』を読み、献血に協力した人たちの行動力について考える。 命の尊さを感じた経験を紹介し合う。 自分たちがこれから命を大切にするために、何ができるか考え、学習ノートやワークシートに自分の思いを書く。 	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>多くの人の献血で命が一つ救われる。他人であっても命は唯一絶対のものという、どの人の心にもある精神を感じ取らせたい。</p>	<p>【導入】 P94・P95の詩をもとに、命の大切さについて考えさせる。</p> <p>【終末】 P100・P101を読んで、本時の学習との共通点を考えさせる。</p> <p>【発展】 P96～P99『ヒキガエルとロバ』を読ませ、命の大切さについて考えを広げさせる。</p>
--------	--	---	---	--

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	--------------

32. 元気が いちばん【主題名／元気が いちばん】〈生命の尊さ / 家族愛, 家庭生活の充実〉

2 月	<p>◆本時のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多くの人に守られ支えられ、「生きる力」を輝かせて生きている自分の命を見つめ直す。 ○自他の命はかけがえのないものであることを自覚し、命あるものを大切にしようとする心を忘れずに生活しようとする。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 「命を大切にする」ということについて考える。 2 資料『元気が いちばん』を読んで、展開1の考えを深める。 3 自分のことについて考え、ワークシートに記入する。 	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>家族の支えによって「生きようとする強い力」が発揮されてきたことをもとに、健康であることに心がけ一生懸命生きることの意義を考えさせることができる。</p>	<p>【導入】 P94・P95の詩をもとに、命の大切さについて考えさせる。</p> <p>【終末】 P100・P101を読んで、本時の学習との共通点を考えさせる。</p> <p>【発展】 P96～P99『ヒキガエルとロバ』を読ませ、命の大切さについて考えを広げさせる。</p>
--------	---	--	--	--

【私たちの道徳】ヒキガエルとロバ【主題名／命あるものを大切に】〈生命の尊さ〉

2 月				<p>【導入】 P94・P95の詩をもとに、命の大切さについて考えさせる。</p> <p>【終末】 P100・P101を読んで、本時の学習との共通点を考えさせる。</p>
--------	--	--	--	---

33. こう太のなやみ【主題名／健康の大切さ】〈節度, 節制〉

2 月	<p>◎健康の大切さを理解し、自分でできることは自分でやり、よく考えて行動し、節度のある生活をしようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> *健康であることのよさや大切さに気づき、健康でありたいという願いをもつ。 *健康な体をつくるためには、自分でできることは自分でやり、よく考えて行動し、節度のある生活をする必要があることを理解する。 *健康な体を自分でつくろうという意欲をもち、具体的な方法について考えて実行しようとする。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 じょうぶな体のよさについて話し合う。 2 資料『こう太のなやみ』を読んで、主人公の悩みについて話し合う。 3 自分の今までの経験を振り返る。 4 じょうぶな体をつくるにはどうしたらよいのかを話し合う。 5 じょうぶな体のために、健康づくりプランを立てる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『こう太のなやみ』を読んで、話し合わせる。[本時] ②日常生活……道徳の授業で考えた健康づくりのプランを実行し、記録させる。 ③学級活動……健康づくりプランの実行を振り返って話し合い、新たなプランを考えさせる。 	<p>【導入】 P10・P11を活用して、自分の生活の様子を振り返らせる。</p> <p>【展開後段】 P12・P13を読み、本時の学習とつながるキーワードを見つけさせる。</p> <p>【終末】 P16～P19『少しだけなら』を読ませ、自分の生活に生かせそうなことを見つけさせる。</p>
--------	--	---	---	---

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
【私たちの道徳】少しだけなら【主題名／よく考えて節度ある生活を】〈節度，節制〉				
2月				<p>【導入】P10・P11を活用して，自分の生活の様子を振り返らせる。</p> <p>【展開後段】P12・P13を読み，本時の学習とつながるキーワードを見つけさせる。</p>
34. おはし，ちゃんと使えないの【主題名／日本の文化を受けつぐ】〈伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度 / 国際理解，国際親善〉				
3月	<p>◎日本人としての自覚をもち，日本の文化や伝統を大切にしようとする。</p> <p>*「日本人ならできたほうがいいこと」とはどんなことを考えることができる。</p> <p>*日本人として，受け継いでいかななくてはならない文化や伝統があることに気づく。</p> <p>*大切にしていきたい日本のよさについて考え，文化や伝統を受け継いでいこうとする気持ちをもつ。</p>	<p>1 何かできなくて恥ずかしい思いをしたことを話し合う。</p> <p>2 資料『おはし，ちゃんと使えないの』を読み，問題意識をもつ。</p> <p>3 ワークシート（児童書 P131）「いくつできますか？」を記入し，受け継いでいく文化について話し合う。</p> <p>4 大切にしていきたい日本のよさについて考えたことを発表し合う。</p>	<p>①道徳の授業……資料『おはし，ちゃんと使えないの』を読んで，話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……自分ができるようになりたいものにチャレンジさせる。</p> <p>③学級活動など……地域にある「日本の文化・伝統のよさ」を探して，紹介し合わせる。</p>	<p>【導入】P164・P165を活用し，日本のよさについて発表させる。</p> <p>【展開後段】P166～P167をもとにして，日本のよさと，外国のよさを比べさせる。</p> <p>【終末】P168・P169を読み聞かせ，日本のよさを再認識させる。</p> <p>【発展】P168・P169のような，外国から見た日本人や日本のよさについて調べ学習をする。</p>
35. 『なごみ』のある温泉浴場【主題名／「なごみ」を生むもの】〈礼儀〉				
3月	<p>◎礼儀の大切さを知り，だれに対しても心を込めて接しようとする。</p> <p>*「あいさつ」によって，互いに相手を認め合う心が通じ合い，「なごみ」が生じることがわかり，そのことが心が動く。</p> <p>*「心」と「かたち」が合わさって，真の「あいさつ」になることがわかる。</p> <p>*真心の込められたあいさつを日々実践しようとする意欲をもつことができる。</p>	<p>1 あいさつをしたり，されたりしてうれしかったことを発表する。</p> <p>2 「なごみ」という言葉を考えながら，資料『「なごみ」のある温泉浴場』を読む。</p> <p>3 温泉浴場のようすで「いいなあ」と思ったところを発表する。</p> <p>4 「ぼく」が「あいさつは，はずかしくてめんどうくさい」と思っていたのに，「心がなごむあいさつ」を続けていきたいと思ったわけについて話し合う。</p> <p>5 「これが『なごみ』だ」と思った礼儀を発表する。</p>	<p>①道徳の授業……資料『「なごみ」のある温泉浴場』を読んで，話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……「あいさつをして気持ちよかったこと」等を日記などに書きとめておき，朝の会・帰りの会で発表させる。</p> <p>③学級活動……「時・人・場」を考えたあいさつの大切さについて話し合わせる。</p>	<p>【導入】P56～P59を活用して，礼儀名人になるために必要なことを考えさせる。</p> <p>【発展】P60・P61を参考にして，どのような礼儀作法があるのか，それによってどのようなよいことが生じるのかについて調べ，実践させ，その感想を発表させる。</p>